

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【公開番号】特開2017-85418(P2017-85418A)

【公開日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2015-213324(P2015-213324)

【国際特許分類】

H 04 B 5/02 (2006.01)

H 02 J 50/00 (2016.01)

H 02 J 7/00 (2006.01)

H 01 F 38/14 (2006.01)

【F I】

H 04 B 5/02

H 02 J 17/00 B

H 02 J 17/00 X

H 02 J 7/00 3 0 1 D

H 01 F 38/14

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月17日(2018.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

整合部202は、受電アンテナ201と変復調部及び整流平滑部203とインピーダンスマッチングを行うための構成要素である。また、送電装置100の共振周波数fと同じ周波数で受電アンテナ201が共振するための要素でもある。整合部202は、整合部104と同様にコンデンサ、コイル、可変コンデンサ、可変コイル及び抵抗等を有する。整合部202は、送電装置100の共振周波数fと同じ周波数で受電アンテナ201が共振するように、可変コンデンサのキャパシタンスの値、可変コイルのインダクタンスの値及び可変抵抗のインピーダンスの値を制御する。また、整合部202は、受電アンテナ201によって受電される電力を整流平滑部203に供給する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

変復調部204は、ダイオードとコンデンサと抵抗によりダイオード検波部を構成し、整合部202から供給された電力の変化を電圧変化として包絡線検波し、CPU205へ送る。CPU205は整合部202からの包絡線検波信号を受信して、送電装置100からコマンドを送電装置100と予め決められた通信プロトコルに応じて解析し、送電装置100からのコマンドを理解する。変復調部204はまた、CPU205からの制御信号に応じて負荷変調を掛けることで、送電装置100から受信したコマンドに対する返答及び所定情報を、受電アンテナ201を通して送電装置100に送る。変復調部204に含まれる負荷が変化する場合、送電アンテナ108に流れる電流が変化する。これにより、

送電装置 100 は、送電アンテナ 108 に流れる電流の変化を検出することによって、受電装置 200 から送信されるコマンド、コマンドに対する返答及び所定の情報を受信する。